

## ● 菌茸類

### ＜アッププラン目標値＞

#### ①反収

作型	項目	数値
菌床 自然 (2万玉当たり)	現状平均	17t
	連絡協議会目標	19t
	最高反収実現農家	21t
原木 施設	現状平均	8t
	連絡協議会目標	9t
	最高反収実現農家	10t
菌床 ハウス 周年	現状平均	20t
	連絡協議会目標	20t
	最高反収実現農家	20t

#### ②秀品率

作型	項目	数値
菌床 自然	現状平均	55%
	連絡協議会目標	60%
	最高反収実現農家	65%
原料 施設	現状平均	60%
	連絡協議会目標	65%
	最高反収実現農家	68%
菌床 ハウス 周年	現状平均	70%
	連絡協議会目標	70%
	最高反収実現農家	70%

#### ③家族労働による生産規模・販売額の協議会目標

作型	1a 300万円
菌床ハウス周年	

### ＜重点取組事項＞

◎反収アップ	①優良菌種の導入 ②温度管理の徹底、適期収穫 ③高温期の対策徹底(培地への散水・被覆材による遮光・送風) ④優良菌種の導入 ⑤菌床玉仕込みに使う原料、栄養剤使用割合の調整技術の習得
◎秀品率アップ	①高温期の対策徹底(培地への散水・被覆材による遮光・送風)
◎生産資材	①おが粉、原木、種菌、栄養剤 ②DB・袋の統一
◎振興方策 ①平成28年度までの現状  ②平成29年度に向けた要望・意見	①県単事業による生産資材への補助 ②種菌導入に対する一部助成 ③種菌購入に対する助成(購入額の20%・上限5万円)  ①県単事業による生産資材への補助の継続 ②種菌導入に対する一部助成の継続 ③平成28年度と同内容継続

#### ◎各地区の生産状況

地区	部会員	主な作型・品種
福島	菌床12名 原木2名	周年施設栽培 菌床 北研
伊達	しいたけ生産者2名	北研オガ菌600号等
安達	菌床8名、原木3名	自然発生 菌床:北研 原木:富士、その他
そうま	菌床5名、原木2名	菌床:森産業、北研 原木:富士、秋山種菌他